

43・11月

11. 25

No. 100

町の人口	
面積	31.09K㎡
人口	43.11.1 現在 14,979人
男	7,402人
女	7,577人
世帯数	3,307世帯
町議員数	18人

印刷/望月印刷所 T800304

### 富士川町民憲章

## 町の花、町の木

### 十一月三日 制定さる

町は、十一月三日に、恒例の町文化祭(第14回目)に合わせて明治百年記念式典を挙行しましたがこの日、その記念行事の一環として、「富士川町民憲章」と「町の花」「町の木」を制定しました。のびゆく富士川町を精神的、側面的に支援するこれら一連の企案がその任を果たし、成果をあげるためには、わたくしたち町民ひとりひとりの愛町の心を前提条件にしています

町の花、町の木で緑の町に、そして、憲章をわたくしたちの心の糧(かて)にしたいものです。

#### 町の花は

### 「ふよう」

町の花を「ふよう」にした理由  
花の姿はあくまでも気高く清らかで、富士川町の自然美と人情味を象徴するにふさわしい。

#### ▲ふよう(芙蓉)

あおい科に属し、日本原産の灌木。観賞用として庭園に栽植されています。高さ一メートル五〇センチ〜三メートル。

八月、九月、梢上に淡紅色大輪の美花を開きます。白花品、八重咲き品もあり、また八重咲きではじめ白色、後にだんだん紅変する品種は、とくに醉芙蓉(すいふよ

う)と呼ばれています。

春先に枝を切り、一五センチ〜二〇センチぐらいのさし木とすれば、簡単に発根します。種からですと開花まで三年ぐらいかかります。

#### 町の木は

### 「まき」に

町の木を「まき」にした理由

町内に散在する「まき」の老樹は、何百年もの長い間、町の発展を見守り続けて今日に至っているその精気は大で、躍進富士川町を象徴するにふさわしい。

手軽な植栽で、うるおいのある緑の町を現出させることができる

#### ▲まき(榎)

まき科に属す常緑樹。

最長、高さ二〇メートル、直径一メートル二〇センチ。

「らかんまき」が庭園樹として広く栽培され、また人家の生垣として賞用されています。

自生するものは、とくに「いぬまき」と呼ばれます。

枝を切ってさし木にしたり、実生から発芽した苗木で繁殖させます。

るため、自主的に守るべき規範として「富士川町民憲章」を制定しました。



#### 富士川町民憲章

一、わたくしたちは、富士川町民としての自覚をもって、郷土のためにつくしましょう。

一、わたくしたちは、心身をきたえ、仕事にはげんで、豊かな町にいたしましょう。

一、わたくしたちは、教養を高め情操を深めて、明るい家庭をきずきましょう。

一、わたくしたちは、奉仕につとめ、力をあわせて、住みよい社会をつくりましょう。

一、わたくしたちは、創造と努力によって、町の未来を開きましよう。

#### 富士川町民憲章

富士川町民であることに誇りをもち、町をより美しく、豊かにす

# 明治百年 記念式



町は、明治百年記念式を十一月三日、町立第一公民館で、町文化祭芸能大会開催一時間前の午前十時に挙行了しました。

「町民憲章」「町の花」「町の木」の発表とその経過報告の後、三代以上公職者、産業・文化功労者、三代夫婦、八〇歳以上の夫婦、九〇歳以上高令者、町民憲章・町の花・町の木入選者の表彰が行なわれました。また、町文化協会（秀村敏朗会長）は引続いて同席上で、文協功労者と文化祭展覧会入選者の表彰を行いました。中川町長の式辞、渡辺議長（祝辞）、秀村文協会長の祝辞とあいさつ後、新しく制定された「富士川町民憲章」を出席者全員起立して唱和、自治功労者代表の望月儀一氏の音頭で万歳三唱を和して閉式しました。

明治百年記念式典として、式典関係者約百人、一般参加者もおよそ三百人と、例年の文化祭式典の倍近くの出席者を数えました。

## 事行 文化祭挙行

### 記念表彰

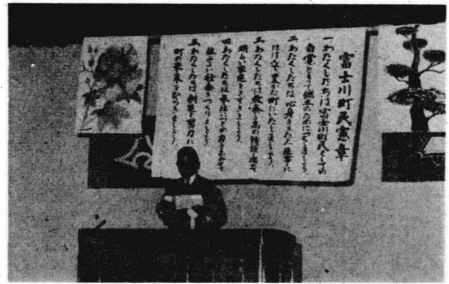
(敬称略)

#### ■三代以上公職者(感謝状)

- 清水市上清水三三六 若槻貞雄
- 一代 故若槻武樹 初代村長
- 二代 故 〃 直作 町議
- 三代 故 〃 直樹 町議
- 故 〃 正作 町長・町議
- 富士川町中郷三〇八五 浦田雅史

写真

中央に町民憲章、左右に町の花・木。中川町長の式辞



- 一代 故常葉一郎 町村長・助役・町議
- 二代 故 〃 茂樹 町議
- 三代 常葉松雄 町議

#### 富士川町岩洞一二二八

- 望月広巳
- 一代 故望月作太郎 町議
- 二代 故 〃 隆太郎 町議
- 三代 望月広巳 町議

#### 横浜市磯子区森町八六〇

- 稲葉 勲
- 一代 故稲葉森吉 村長・村議
- 二代 故 〃 英一 村議
- 三代 故 〃 彰 村議

#### 富士川町北松野六九二

- 天野とよ
- 一代 故天野勝太郎 村議
- 二代 故 〃 伝作 村長・助役
- 三代 故 〃 謙一 村長・助役

#### 富士川町北松野四二九

- 神戸高美
- 一代 故神戸惣十 村議
- 二代 故 〃 多十 村議
- 三代 神戸高美 村議

#### 富士川町北松野一五七九の四

- 高岡文夫
- 一代 故高岡由太郎 村議
- 二代 故 〃 隆次郎 村議
- 三代 高岡文夫 町村議・助役

#### 富士川町北松野一二〇七

- 佐野日出男
- 一代 故佐野由太郎 村議
- 二代 故 〃 龜作 村長・村議
- 三代 故 〃 滋 村長

#### ■産業功労者(感謝状)

- 富士川製紙株式会社・野田合板株式会社・本州製紙株式会社岩洞工場

#### ■文化功労者(感謝状)

- 秀村敏朗(町文化協会会長)
- 稲垣甲子男(郷土史家)
- 三代夫婦(祝詞)
- 佐藤宗男家(木島) 養常次郎家(川坂) 石川浜吉家(壺下町) 杉原格太郎家(壺下町) 松下千代吉家(大北町) 稲葉寅吉家(南町)

#### ■八〇歳以上の夫婦(祝詞)

- 常盤愛作・たけ(小山) 斎藤第三郎・きぬ(相生町) 加藤弘吉・たけ(東町) 稲葉金太郎・はつ(八幡町) 朝比奈兼吉・みき(壺下町)

#### ■九〇歳以上の高令者

- 生田台宗 (93歳 幸町)
- 望月やす (93 〃 八幡町)
- 吉田とめ (93 〃 大北町)
- 荻野さわ (92 〃 本通四)
- 望月サイ (91 〃 室野)
- 池谷虎吉 (91 〃 舟山町)
- 大岳賢宗 (91 〃 新町四十九)

1 1 月 3 日

# 明治百年記

## 第14回 町

清水丑太郎 (90〃上町)  
 石川伝作 (90〃儘下町)  
 天野なか (90〃大北町)  
 長谷川さん (90〃相生町)

「明治百年記念」は、先人の功績をたたえ、わたくしたちの過去を反省して、今後百年の文明進展に覚悟を新たにするために意義あることと思えます。

今から三十二年後は二十世紀、今の青少年が日本の運命をになって活動する時代です。次の「百年」を託せる人材を強く希望するのはわたくしだけでしようか。

町長 中川国兵

### ■町民憲章入選者(賞状)

望月豊吉(東町)・小森保一(宮町)・望月良吉(東町)

### ■町の花・町の木入選者(賞状)

町の花・上野俊一(南町)  
 町の木・斎藤友吉(舟山町)

### ■文協功労者(文協会長表彰状)

渡辺清(新町)・田中好子(清水町)・文協手芸部・富士川吟詠会

### 町の花・木

#### 選定の経過

町は、明治百年記念行事の一つとして、「町の花」「町の木」を定め、その普及を通じて、うるおいのある緑の町をつくらうと、十月、町民皆さんから、町にふさわしい花と木を広く公募しました。応募総数百二十通を十月二十八日に開かれた審査委員会(町当局3名・学識経験者15名計18名)で慎重に検討した結果、「町の花」は「ふよう(芙蓉)」を、「町の木」は「まき(槇)」をそれぞれ選定しました。なお、該当者の抽選を経て、入選者各一名が決定されました。

記念品は電気スタンド。明るい光りをもとめていただいた謝意がこめられています。応募者皆さんには記念のハンケチを一点につき

一枚づつ発送しました。

中川町長談「町の行事に積極的  
 に協力された応募者の皆さんに心  
 からお礼申しあげたい。入賞する  
 かないかは別の次元で、まず率  
 直に参加する姿勢が尊い。今後ま  
 たこのような機会があったときは  
 ぜひ応募していただきたい」  
 決定された「ふよう」と「まき」  
 は、季節をみて、種や苗を世帯  
 ごとに配布します。

町内全域に植樹、開花させて、  
 美しい富士川町をつくりましょ

### 町民憲章

#### 選定の経過

町は、明治百年記念行事の一つとして「富士川町民憲章」の制定を企案し、十月に町民皆さんから公募した結果、応募総数は四十七通になりました。

十月三十日に開かれた審査委員会(町当局3名・学識経験者15名計18名)は、二十八日の予備審査を通過した作品を検討し、加えて審査委員会案を作成、これに近い作品三点を入賞作に決定しました。なお、憲章は五条から成り、一条二千円の賞金で五名の方に贈ることになっていましたが、このほかの該当者は、たまたま審査委員二名の方の作品でしたので削除さ

れました。

中川町長談「応募された方に敬意を表したい。  
 町の花や木の場合と違って、作品ですので、なかなかお骨折だったことと思います。  
 愛町精神みなぎる作品が多く、入賞を逸したとはいえ、富士川町民憲章制定に示唆を与えた影響は大きいものがあります。

### 第14回 町民文化祭

#### 主会場、人で埋まる

今後、この種の行事に率先参加され、協力していただきたい」  
 応募者皆さんに感謝の心をこめて、記念のハンケチが贈られました。

制定された町民憲章は、各種の会合の都度、開会前に唱和することになっており、近く、ポスターを作成、公の施設はもちろん、全世帯へ配布します。

富士川町主催、富士川町教育委員会主管、富士川町文化協会運営の第14回町文化祭が十一月三日に挙行されました。

あくまでも晴れわたった秋の日、とくに、ことしは明治百年記念行事を合わせ、同一構内にある町立第一公民館(明治百年記念式場・芸能祭会場)・町立図書館(展覧会場)・園庭(園遊会場)などの主会場は人で埋められる盛況を見せました。第一中学校舎内では閉幕大会、校庭では、体協陸上競技部主催の第5回五種競技会が行なわれました。

朝九時から午後三時半まで、家族連れで楽しむ姿も増え、文字どおり町民文化祭を現出しました。

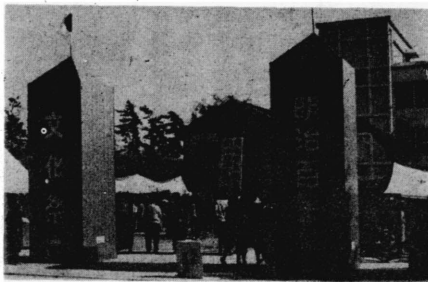


写真 会場入口。右に展覧会場(図書館) 左に芸能会場(公民館) 中央左寄りには園遊会場。

# 展 覧 会 (町立図書館)

## 出 品 総 数 二 三 二 二 点

町民文化祭展覧会は、十一月二日、三日の両日午前九時から午後五時まで開催されました。ことし出品された総数は二三二二点(前回は一八一一点)内訳は次のようになっています。

- ◆ ( )内は前回点数
- 絵画 26点 (17点)
- 写真 40〃 (34〃)
- 書 31〃 (28〃)
- 水石 25〃 (24〃)
- 手工芸 42〃 (51〃)

- 生花 23〃 (18〃)
- 盆景 5〃 (2〃)
- 文芸 15〃 (7〃)
- 盆栽 25〃 —— 今回から出品

### 入賞者 (敬称略)

- ・手芸
  - 金賞—宇田紀子 銀賞—百瀬啓子
  - ・書道
    - 金賞—渡辺初代 銀賞—若月美登里
    - ・写真
      - 金賞—松下好璋 銀賞—田中秀幸
      - ・絵画
        - 金賞—小永井茂昭 銀賞—保坂光浩

### 明治百年

#### 記念人形展

町老人クラブ連合会のきも入りで、明治百年を記念したわら人形展が園庭のまきの木の周囲を飾り行き来する人たちの目を楽しませてくれました。



写真 展覧会場(図書館)内一部

数こそ四体と少なかったのですが、そのどれもが苦心の作で、昔の農夫、郵便配達夫、消防組員、兵隊の姿を再現していました。



写真 等身大で人と間違えますネ  
明治・大正・昭和の  
珍らしい

#### 町の写真展

町と町文化財保護委員会は、明治百年記念写真展を町立第一公民館人口ホールに展示しました。明治・大正・昭和を通じて町内の珍らしい写真を収集しただけに町民皆さんの関心を集め、好評を博しました。

### 体協陸上競技部

#### 五種競技会

##### 丸山君一位

町体育協会陸上競技部は、明治百年記念行事に賛同し、十一月三日、町立第一中学校校庭で第5回五種競技会を開催しました。

当日は、町内青年、高校、中学生の陸上競技愛好者64名が参加、五種目(中学生は三種)に技を競いました。

この競技会は、記録向上の目的のみにとられず、陸上競技人口の底辺拡大をはかるため、一般と

写真 千五百ゴールの一瞬



の親睦にも注意が払われています。なお、五種競技開始に先立ち、招待自由参加による六三リレー、順送球が行なわれ、町内各区の内16チームが出場して好レースを展開しました。

結果は次のとおり。(敬称略)

#### ※六三リレー

- 一位 東町 3分5秒6
- 二位 新町四十九 3分6秒5
- 三位 川坂・堺町 3分7秒9

#### ※順送球

- 一位 小池 3分11秒0
- 二位 坂下 3分13秒8
- 三位 北松野 3分15秒6

#### ※五種競技

- 一位 丸山博康 二八九六点
- (百・11秒3 八〇h・11秒4 千五百・5分50秒 6 走高跳・1m51 砲丸投・12m13)
- 二位 古屋逸亘 二五一四点
- 三位 池田一郎 二四〇四点

#### ※三種競技(中学一、二年男子)

写真 珍らしい写真に驚嘆の声があがる。





# 秋の日を浴び

## 園遊会盛大に

- 一位 大久保邦彦 一〇九九点  
(二百・27秒8 砲丸投・8m27 走高跳・1m38)
- 二位 鈴木久 二〇六〇点
- 三位 斎藤晴彦 一〇二八點

### ※三種競技(中学一、二年女子)

- 一位 大島美登里 八九八點  
(二百・30秒5 砲丸投・6m37 走高跳・1m20)
- 二位 神田和代 八八八點
- 三位 加藤妙子 八八一點

### ※種目別一位

- 中学二百 26秒1 田森信行
- 砲丸投 9m40 渡辺吉章
- 走高跳 1m53 滝 成人
- 一般千五百 4分28秒4 清 勝元

## 囲碁大会

一中校舎内で行なわれた町民囲碁大会には三十五人が参加、観戦者も多く、熱戦が展開されました。ことし初めて町文化祭の一行事として文協囲碁部(責任者・谷莊四郎)が開いたもの。

### ◆ (敬称略)

- 優勝 (町長杯) 海野常夫
- 準優勝(文協会会長杯) 佐塚梅吉
- 三位 角替治長

まず、人の数に驚かされました。さんさんと降り注ぐ秋の日ざしは暑いほど。

入口をはいつてすぐ左手に仏教婦人会バザー、続いて婦人会のおでん、だんごなどの店々が立ち並び、園庭をへだてて向う側に紅白の幕で囲われた茶の湯の席、隣りは似顔絵サービスコナー、商工会の物品交換所、商工会ビアガーデン、展覧会場の入口に無料湯茶接待所と楽しく散策できる仕組



写真 座って、あるいは腰かけて気楽な野だて。茶を一服する中川町長(左)と秀村文協会長(右)

写真 園庭を行き来する人、人。



みになっていきます。

和気あいあいと立話する姿も見られ、日ごろの忙しさを開放されてノンビリムード。

トピックス  
四 題

野田合板株式会社は、会場正面入口の大角塔二基を自社製品合板の宣伝をかねて作成寄贈しました。3P写真左右の塔がそれ。費用も

# 芸能大会

## 第一公民館で

芸能大会は、明治百年記念式典後の第一公民館で1時から午後3時まで開催されました。

楽栄会(筆曲)、富士川吟詠会、文協舞踊部、楽団ハリケーンズ、富嶽愛吟会、四方の会(筆曲)、劇団・創炎の各グループのはか婦人会の参加があつて盛大な芸能祭でした。

演劇は創炎の「明治百年のある家族」バラエティは婦人会の「世は唄につれ」が上演されました。

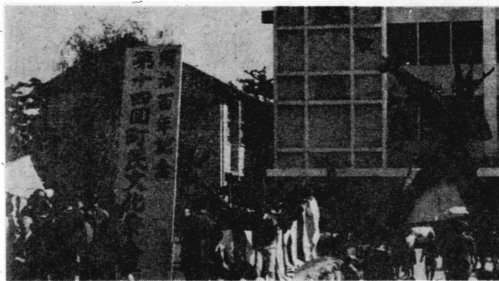


写真 一夜で出現、巨人・炎の神下の人と比べてください。



写真 芸能祭の最後を礼儀正しく閉幕した劇団・創炎。

芦川照江さん

# 県芸術祭賞獲得

## しかも小説・随筆二部門で

相生町の主婦、芦川照江さんが見事、県芸術祭賞を獲得しました

しかも、小説と随筆の二部門の芸術祭賞を受賞しました。同時に二部門の最高賞を仕止めたことは、県芸術祭史上初めてのことです。不可能を可能にしたその筆力は、各方面からの賛嘆を浴びています。

随筆は一昨年、昨年と連続奨励賞を受け、ことし金的。小説は、三年前に一度応募して落選、今回二回目で見事金的を射通しました

この主婦パワーの爆発ともいえるべき両部門最高賞受賞は、もちろん遇発などというものではなく、



写真 芦川照江さん

長年にわたる文芸探求の精進で開花したものです。

詩人として小川アンナのペンネームで詩歴すでに十二年、小説は五年前から書き始め、「看護婦日記」を処女作に今回で八作目。

県詩人会、文芸静岡に所属し、同人雑誌「紅炬」、詩誌「城」の会員で、詩ではすでに県下文芸界に知られています。

炊事中でも、メモを身近かにおき、発想したときは書きとめるとのこと。

受賞した小説の題名は「麻の葉」随筆は「回帰の花」、音律は違いますがそれぞれ優雅な詩を奏でています。

芦川さん談「一番感謝しているのは、わたくしを理解し、わがままを許してくれた主人です。しかし、今後も創作活動を続けていくためには、主婦の仕事と調和を保つことが必要で、創作のために家庭生活を犠牲にするなどということとは厳につつしみたいと思います

文化協会の皆さん、主婦の読書の皆さんの友情がわたくしをどれほど支えてくれたか知れませんが心からお礼申しあげたい」

芦川さんは、次々訪れる新聞記者に応待しながら、

「受賞して、かえっておそろしい感じ、大きな森の中に迷い込んで、懸命に抜け出そうという気持ちです。

戦後、女の地位向上を目ざし短歌に託して女の自主性を歌おうとしましたが、制約内で表現しきれず、詩に取り組みました。また小説を書き始めたのも、この主張を表現するにたおろそ許されるものを感じたからです、小説を書くことは、実にたいへんなことだと思います」

と、両手に花の受賞者の喜びの声とは思われません。

県内各地から受賞を祝う便りがひきもきらず、純粹に喜び励ましてくれる文面には、さすがの芦川さんも涙ぐんでいました。

十一月二十七日は、静岡市日生ビルで晴れの表彰式。

富士川町文化協会（秀村敏朗会長）はこの朗報に大喜び、芦川さんの健闘をたたえ、今後ますます活躍されるよう、祝賀激励会を十一月二十八日に開催します。

芦川さんは、また、自分だけの殻に閉じこもるなどということなく、文化協会の理事として、また婦人学級、青年学級の講師としてあるいは読書会のリーダーとして町の文化向上に貢献しています。

秀村会長談「見事だ、の一語です。芦川さんだけの榮譽でなく、文協の榮譽でもあり、また、芦川さんを育てあげた風土として、富士川町の名譽でもあります。

文芸の道の先達になられたわけで、町民皆さんに与えた刺激はまことに意義深いと思います。

芦川さんの今後のご精進を心からお祈りしたい」

芦川さんは、今日もまた黙々と仏壇の前の仕事場で筆をすすめています。終戦後まもなくなくした三人の子どもの見守る前で。芦川さん、ほんとうにおめでと

### 編集覚書

▲頭髪をかきむしらんばかりです。また25日発行です。来月こそ思いつつ……。お許しください。

▲先月号5P、町文化財専門委員の紹介で、神戸鹿治氏が洩れていました。芦川守正、稲垣甲子男、望月八代、小沢素良、宮石省吾、平田広胤、大村好光、神戸鹿治の八氏です。補正するともにお詫びいたします。

▲先月号は誤植が点在し、まことに見苦しい編集でした。とくに最後のページ、芦川氏の「緑の町を」が「緑の町を」になっていて恐縮しています。

▲来月号から、五人の広報通信員（10P掲載）が活躍します。ご期待ください。

▲あなたの回りで見聞される——珍らしい、おもしろい、感心させられる話——をお知らせください。良い話は、広く町民皆さんへ伝えたいものです。

電話で、ハガキでお知らせください。いつでもどこへでも出かけて。 11-11-11 広報ふじかわ 斎藤 博 各地区の広報通信員に話されても結構です。 広報ふじかわは、わたくしたち町民の新聞です。

文協機関誌

文淵第三号

発刊

富士川町文化協会（秀村敏明会長）は、文協の機関誌文淵第三号を十一月三日発刊しました。A5版94頁、五百部。研究論文、随筆、詩、短歌、俳句、各部だよ

選挙人名簿への登録

十二月二日（月）までに

次の方は、まだ名簿に登録されておられませんので、いまず役場へお申出ください。この申出をしないと選挙のとき投票できませんから必ず手続きをしてください。

- 登録申出の必要な人
- ①満二〇歳になった人

昭和43年9月1日以前から富士川町に住んでいて、昭和23年12月2日生まれまでの人で、まだ登録の申出をしていない人（満二〇歳になった方は至急届出をしてください）

- ②町外からの転入者

昭和23年12月2日生まれまでの人で、昭和43年9月1日まで

り等充実した内容です。

文淵は年一回発刊されます。

なお、文協は、このほか、文学部の発表誌、「新縄文」を年一回発刊しています。

文淵第三号は、会員へ一部百円でお分けしましたが、まだ残りが多少ありますので、一般の方へも一部百円でお分けします。教育委員会内文化協会事務局へお申込みください。

レビ等、家庭生活に必要な品物にかけられる酒税、物品税という間接税があります。

納税者は製造者ですが、納める税金は値段のなかに含まれて売られ、結局、消費者が負担しています。

酒税は、製造方法や原料の違いなどから十種類に分類し、それぞれ異った税率をかけています。

この場合、負担する人の能力に応じて課税すべきだという考えから、さらに一級、二級という級別をつけ、高級酒には高く、大衆的な酒には低い税率をかけるよう配慮されています。

清酒一級一本（一、ハリットル）の小売値は千六百十円ですが、この内五百十三円が税金です。こ

れに比べ、二級となりますと五百八十円の内百五十四円が税金という具合に税率そのものも低くなっています。

物品税の場合でも、宝石、貴金属製品など直接家庭生活に不必要な品物には高く、実用的なものには低い税率をかけるようになっていきます。なお、教育用、学術研究用については税金を免除していま



新増・改築

必ず届けを

役場土木課

最近、町内で、無届建築が目立っています。

建築基準法によって、建築面積10㎡（三坪）以上の新築、増築、改築の場合は、建築確認届を提出して確認済後に着工しなければならぬことになっています

県では、十二月上旬に町内の建物の一斉検査を実施しますが、未届の方はもちろん、これから建築されようとする方は、必ず届出をしてください。

町職員六名

町村会

自治功労者表彰

十月十八日、静岡市、日興会館で開催された町村会第43回総会の席上、次の六名の職員が自治功労者として表彰を受けました。

- 全国町村会表彰（敬称略）
- 神戸鹿治 前教委事務局長
- 町村会表彰

- 風間清治 保健衛生課長
- 渡辺忠治 課長補佐
- 蓮池道江 主事
- 望月富子
- 入沢隆枝

谷津倉選管委員長

県選管連合会

特別表彰

県選管委員会連合会の四十三年度総会は十一月十四日、静岡市の日生静岡ビルで開かれました

県下各市町村選管の委員長、書記長などおよそ二百五十人が集まり、各種公職選挙の管理執行に優秀な成績を収めた人たちの表彰を行ないました。

家庭生活と税金

清水税務署

税金は、所得税などの直接税ばかりでなく、酒、砂糖をはじめテ

# 井上富士川製紙(株) 社長

## 重なる栄誉受く

富士川製紙株式会社社長、井上俊夫氏は十月十四日、黄綬褒章を受章しました。

長年にわたる産業界貢献の功績が認められたもので、大蔵省関係十一人の該当者の内、専売事業界ではただ一人の受章でした。

同氏は富士市に居住しています。が、当町自治発展のためにも大きな努力を払われ、昭和32年から現在にいたるまで毎年小中学校の園

### 交通相談所開設

#### 毎週土曜日

老人福祉センター

元富士川町警部補派出所長、現富士宮市交通相談員、氏原綾夫氏は、町民皆さんのお役にたきたいと、毎週土曜日、午後二時から五時までの間、老人福祉センターで無料交通相談所を開設しています

今回は十一月三十日。

同氏は、長年の経験を生かし、交通問題解決に努力しています。

交通事故などでお困りの方は、お気軽にお出かけください。

書費の寄付、あるいは学校建設、警察庁舎、消防施設など各方面に多額の寄付をしてきました。

心から同氏の受章を祝福したいものです。

また、十月二十五日、掛川市で挙行された県消防団長大会で消防功労者として県消防協会彰を受けました。同氏が、長い間、町消防団に尽力された労苦にこたえたもので、最近では、消防司令車としてジープ一台を町消防団本部に寄贈しております。

関係者は「井上氏の二重の栄誉は当然といえば当然過ぎることである。今後ますます社健で社業はもちろん、地方自治向上のため尽力せられるよう希望している」と述べています。

風間保健衛生課長

### 全国環境衛生大会で

#### 優良職員表彰

#### 優良職員表彰

十月四日、岡山市、県体育会館で開かれた「全国環境衛生大会」

総会席上、当町の風間清治保健衛生課長が環境衛生に貢献したことからにより大会会長表彰を受けました



### ご遠慮ください

#### 火災のときの

#### 問い合わせ電話

寒くなるにつれて、火災が増えます。最近では対岸富士市の富士川娯楽センターが全焼して、火災の恐ろしさをまざまざと見せつけられました。

火災の原因になる火が家中いたるところにあると考えて、ストーブ、アンカ、電気毛布、こたつなど、その取扱いは細心の注意が必要で

同時に、ガスを熱源に使う場合は、不用なときは、元せんを切る習慣を必ずつけてほしいものです。火災ばかりでなく、ガス中毒の事故が発生しますから。

火の元だけは、いくら気をつけても、つかいすぎることはありません。子どもさんにも火の元用

心のしつけをしてください。なお、役場の一九番は火災発生の通報のためにあるもので、火災の問い合わせなどは決してしないでください。また、いたずら電話などした場合は、逆探知装置でかけた電話番号を調べ、厳重に抗議します。

また、火災が発生した場合、安易に役場へ問い合わせ電話をする方がありますが、夜間の場合、宿直は一人で、サイレンを鳴らし、放送をし、消防団への連絡など消火のための万全の手配をすることになっており、一分一秒を争っていますので、よくよくのことでない限りご遠慮ください。

秋の全国火災予防運動は十一月二十六日から十二月二日まで行なわれます。当町ではとくにプロパンガス事故防止に重点をおいて火災予防運動を実施します。

### 二分団消防車庫

#### 改築始まる

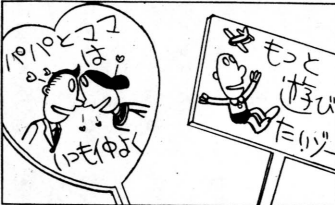
町は、老朽化した二分団消防車庫(旭町)の改築を進めています。十一月八日入札、若月栄組が六百四十万円で請負い、十一月二十一日着工、来春三月十日完成の予定。財源内訳は起債三百万町費三百四十万円。鉄筋二階建、延二二

〇㎡(六六坪)。一階は車庫・機関員住居、二階は会議室・事務室・待機室。将来、消防署として昇格しても適合できる設計が注目されます。

## 町議会短信

### 十一月

- 1日 全員協議会、午後一時。
- 3日 明治百年記念式典・町文化祭、午前十時。
- 4日 産業構造入札建設委員会
- 7日 福島県山都町議19人視察来町。法人懇話会。
- 8日 二分団車庫入札、午前九時
- 渡辺議長、若月、渡辺清西議員坪内消防団長立合い。
- 11日 理研30周年記念(駿府会館)
- 渡辺議長出席。
- 15日 議長全国大会(東京台東体育館)渡辺議長、望月事務局長出席。
- 17日 故渡辺竹蔵氏葬儀。
- 18日 厚生委員会。
- 19日 宮城県町村事務局長11人視察来町。
- 21日 二分団車庫起工式。
- 27日 那事務局長会議(由比)望月事務局長出席。
- 29日 那議長会(由比)渡辺議長出席。



十月三十日、東京都世田ヶ谷区民会館で開かれた全国戸籍事務協議会総会の席上、当町の平田広胤任民課長が、優良戸籍事務担当者として協議会長表彰を受けました

全国協議会長表彰

平田住民課長  
優良戸籍事務で

静岡新聞主催  
時局講演と料理教室  
講師・浜島よう子  
12月18日午前10時から  
斎藤料理教室(堺町)  
会費は不要です。お正月料理の作り方など。  
お誘い合わせのうえお気軽にどうぞ。

赤い羽根募金

五十余万円

十月一日から始められた、赤い羽根共同募金は、十月三十日まで五十万五千余円が寄せられました。この募金は、県下の民間で経営されている老人ホーム、子どもの収容施設、母子寮、保育所などに配分されますが、募金運動はさらに歳末助け合いとして十二月三十一日まで続けられます。

多額の浄財を寄せられた皆さんに厚くお礼を申し上げます。  
街頭募金(老人クラブ)

- 東町稲荷会 一、〇〇〇〇
- 法人懇話会 八〇、五〇〇〇
- 六、七四二円

戸別募金 二七六、八五〇〇  
特志募金 一四〇、六〇〇〇

計 五〇五、六九二円

平田住民課長談「歳末助け合い活動は、十二月三日まで婦人会が戸別に持ち寄り運動を行ない十二月六日には、富士川町仏教会が早朝から助け合い托鉢を行ないますので、いっそうのご支援をお願いします」

従業員住宅の建設資金説明会

県は、昭和44年度中に従業員住宅を建設しようとする事業所に対して、その資金を融資しますが、その説明会を次のとおり行ないます。

- 融資の種類
- ①静岡県厚生年金勤労者住宅

- ②年金福祉事業団住宅
- ③特定分譲住宅
- ④静岡県住宅供給会社

●日程および会場

- 1月20日 静岡市追手町・中小企業会館
  - 1月28日 沼津市上香貫・沼津市役所
  - 1月29日 富士市市場・富士建設業会館
- (詳細については、県住宅課または各土木事務所建築住宅課にお問い合わせください)

年賀状は

十二月二十二日まで

岩淵郵便局

年賀状は12月22日までです。小包は、12月15日までにお出しください。

郵便番号は必ず書いてください。岩淵郵便局の郵便番号は四二二一三三です。

登記申請について

静岡地方事務所

年末は、登記の申請が一時に殺到しますので、申請書類の提出が遅れますと年内に登記済証を受け取ることができないことがありますので、年内に登記を済ませたい方は、遅くとも十二月中旬までに登記の申請をしてください。

冬の食事

あたたかいなべものを

主婦の皆さんへ  
寒い冬、暖かい夕食を準備してあげましょう。  
冬は、とくにカロリーの高い、からだの暖まる食品を心がけることがたいせつです。

なべものが喜ばれます。あんこうがおいしい季節ですから、一度試してみたいかが。あんこうの、おいしいのは皮や内臓の部分で、とくにキモは珍重されます。ネギ、ハクサイ、生シイタケ、豆腐、しらたきなどとりあわせませう。

そのほか、肉類がこのごろ高く、台所をあずかる主婦の苦労はたいへんでしょうが、野菜をいろいろとりまぜて、豚肉やベーコンなどいっしょに煮こむ、スープ風の料理は、老人、子どもにも喜ばれましょう。

なべを囲むふん囲気がまた楽しいもので、いっそうおいしく感じられます。

たいへんなのは、お正月の準備です。暮れ近くなると、お正月の食品の値段がぐんとあがります。といって、あまり早く買いこんでおくわけにもいきません。計画をたてて、あまり買い過ぎないように注意したいものです。



### 国民年金保険料

#### 四十四年一月から

#### 五十円引き上げ

国民年金は、あなたの将来のしあわせを約束し、生活を高め、住みよい社会を築くための制度です。十一月は、国民年金普及推進月間です。これを機会に、保険料について検討してみましよう。

昭和44年1月から引き上げ  
35才未満 二百五十円  
35才以上 三百円

国民年金制度は、昭和41年の改正により、年金額を二倍半に引き上げるなど、大巾な改善が行なわれました。

年金額が二倍半にあがったので、当然、保険料も相応の引き上げが必要となります。計算によると、年金額を二倍半にするためには被保険者一人あたり月額四百円の保険料にしないと年金財政は赤字になるといわれています。

しかし、保険料をこれまでの百円、百五十円から一挙に四百円に上げることは、無理が伴うおそれがあります。そこで、当分の間（四十二年一月から四十三年十二月まで）は、二百円、二百五十円とし、四十四年一月一日から、年次の五十円づつ引き上げていくと

いう方法がとられました。

また、国民年金について次の点にご注意ください。

- 保険料が期限内に納まっていなると、不慮の事故にあったときや主人が急になくなったときに、障害年金、母子年金などもらえない場合があります。
- 納め忘れをなくしたり、収入の時期が限られている人のために、保険料の前払い制度をおすすめし

### 町婦人会

### 県国民年金協議会から

### 感謝状受く

十一月八日、県国民年金協議会



写真 表彰を受く望月婦人会長

ます。

- 生活が苦しく、保険料を納めるのが困難な家庭では、保険料の免除制度を利用し、生活にゆとりが出たときに、さかのぼって納める方法もあります。
- なお、制度についてのお問い合わせは年金係へ。

「国民年金で暮しに自信  
明るい家庭」

次の方が表彰されました。

- この納税表彰式は、清水税務署清水財務事務所、清水市役所、清水地方税務推進協議会の共催で行なわれるものです。（敬称略）

### 広報通信員

### 五大字に一人づつ選任

町は、「広報ふじかわ」を町民皆さんにより以上親しまれ、より立派にするために、「通信員制度」を採用しました。

皆さんの求めていることがわからなくて、決して良い新聞はできません。広報ふじかわがどのように皆さんに読まれているか、また皆さんが、読んだあとどのような感想をもっているか、という点については、放送のモニター制度の

ようなものがぜひ必要です。しかも、なおいっそう前向きな姿勢としては、その効果状況を伝えてくれると同時に、町内各地区のニュースを知らせてくれる「通信員」が必要な段階に至っています。

町は、このため、いままでも広報ふじかわに極力協力していただいた方のなから次の方をことし四十二年十二月一日から四十五年三月三十一日まで、「広報通信員」として委嘱し、

### 国保記念大会で

### 風間衛生課長・清主事

### 優良事務担当者表彰

十月十六日、県民会館で開かれた「国民健康保険法施行30周年記念大会」席上、優良事務担当者として、風間保健衛生課長が大会会長表彰、清国保担当者が理事長表彰をそれぞれ受けました。

- ① 広報の効果調査
  - ② 担当地区内のニュース通信
  - ③ 有線放送モニター
- などの任務を依頼することにしました。

- 広報通信員 (敬称略)
- 中之郷地区 杉山晴子
  - 岩 洲 “ 小田善一
  - 木 島 “ 芦川和美
  - 南松野 “ 錦織より子
  - 北松野 “ 松下富子

### 大屋信太郎氏ら

### 納税表彰受く

清水税務署管内の第13回納税表彰式が、十一月十四日、清水市中央公民館で開催され、町関係では

小中生徒の

納税ポスター・習字

入賞者決まる

町は、毎年11月25日から12月25日までの間、町税完納強調月間を設け、納税者の完税意欲の向上をはかっていますが、この期間に先だち、さらにその効果を高めるため、富士川町と町納税貯蓄組合の共催で、町内の小中学生（小学生は五年および六年、中学生は全年）を対象に、納税に関するポスターと習字の作品を募集しました。応募作品点数は次のとおりです。

ポスターの部		習字の部	
一小(五年)	一位 常盤敦子	一位 望月篤子	一位 北田恵津子
二位	池谷光正	二位 池上嘉苗	二位 高橋真弓
三位	植松 猛	三位 岡野かおり	
(六年)			
一位	斎藤尚史	一位 望月篤子	
二位	塩坂香代子	二位 池上嘉苗	
三位	加藤清恵	三位 岡野かおり	
二小(五年)			
一位	伊藤敏夫	一位 望月篤子	
二位	波崎美子	二位 池上嘉苗	
三位	後藤正彦	三位 岡野かおり	
(六年)			
一位	原 雅彦	一位 望月篤子	
二位	斎藤美子	二位 池上嘉苗	
三位	桐山万里子	三位 岡野かおり	
一小(五年)			
一位	佐野篤子	一位 望月篤子	
二位	渡辺幸子	二位 池上嘉苗	
三位	前島 淳	三位 岡野かおり	
二小(五年)			
一位	小泉繁盛	一位 望月篤子	
二位	天野由利子	二位 池上嘉苗	
三位	鈴木富美子	三位 岡野かおり	
二小(全)			
一位	石川 薫	一位 望月篤子	
二位		二位 池上嘉苗	
三位		三位 岡野かおり	
二小(全)			
一位		一位 望月篤子	
二位		二位 池上嘉苗	
三位		三位 岡野かおり	

(敬称略)

女の気持

儘下町 小川 慶 子

投稿欄

「成績のいい子の親はしあわせだよね」  
「全くうらやましいね」  
「仕方がないよ、親が親だもの子どもばかりせめてもね」  
「あのうちは家庭環境がいいからね」  
「婦人学級講座、「子どもの教育について」の話し合いの帰り道でのおかあさん方の会話である。  
わたくしもそのなかの一人、やはりうらやましい方であった。  
長男は高一、次男は中三、長女が中二、全くもって今日のお話は手遅れである、後悔もした。  
なんとなく憂うつになり、口数も少なく夕餉(ゆうげ)の仕度に台所に立つ。そのうちに三人の子どもたちは次々に帰って来る。  
「たたいま、あ、お腹すいた、  
二位 神戸久美子  
二小(五年)  
一位 錦織尚子  
二位 波崎美子  
三位 白井敬子  
二小(六年)  
一位 渡辺すみ子  
二位 桐山協子  
三位 斎藤美子  
一中 応募作品なし  
二小(全)  
一位 滝 晴美  
二位 二又川初美  
三位 佐野多恵子  
「なかある？」  
「はるかにわたくしの背丈(せたけ)を上回る長男、次男、平均よりや、小さい長女、それぞれ楽しんで勝手に勝手な話しをしながら、おやつ(おやつ)の落花生の皮を剝(む)いている。  
さすがに、女の子はわたくしの口数の少ないのをみてとってか、「おかあさん、気分わるい？わたくしも手伝うよ」と、エプロンを掛けてくる。  
「日頃はお弁当箱もなかなか洗わないのに。上の二人はよろたき、子どもたちの優しい気づかいに、わたくしの胸も少しづつ晴れ出した。子どもに甘い性分からも知られた。  
夕食の仕度が一応済んだ頃、主人の帰宅、「おい、これをつけておまえもきれいなれよ」と、カバンから取り出したクリューム三種職場へ来たセールスマンから求めたものとか。そろそろ欲しい時とあって思わず嬉しくなってしまう。新しいクリュームのふたを取ってその香を楽しむと、子どもたちもにこにこして眺めている。「わたしの選んだ人を見てください」など、冗談もでる。  
娘の協力でどこのった夕食に箸を動かしながら、また昼間のおかあさん方の会話を思い出す。つい先ほどまで同調していたのに、二三時間後の今は、それを批判していた。  
——いいじゃない、勉強の好きな子、嫌いな子があって当然、不幸がついていってしまうのではないか。どの子ども社会に出ればそれそれなるとかやっていくもの。他人に迷惑をかけない、不遇に合っても負けない、そんな人間らしい人間に成長してくれば——  
食事する主人はじめ母と三人の子どもたちを見やりながら、この思いが決してあきらめからでないことを確信した。  
わたくし以外のほかあきさん方、わたくしと同じような気分浸っている方があっても知れないと、勝手な推察をしながら。

### 善意あれこれ

■仏教婦人会  
 仏教婦人会は、十一月三日の町文化祭当日、手芸品などのバザーを開き、一万円を「歳末助け合い」と寄贈。

#### ■町婦人会

町婦人会は、町文化祭バザーでの売上金から三万円を幼児の遊び道具購入のために、三保育園へなお、町婦人会はここ数年来、毎年このバザーを開き善意銀行へと預託してきています。

■堺町のおばあさん、自分が受け  
 た敬老金を善意銀行へ

堺町の中野もとさん(82歳)は敬老の日に贈られた「敬老金」、ことしと去年の二回分を善意銀行へ寄せられました。

43・9・20/10・19

### 人の流れ

(敬称略)

#### 祝結婚

区名	新郎	新婦	旧姓
本一	藤沼 勇	ノブ	谷口
富士見	久保田正昭	ちか子	坪井
大北	望月義昭	栄子	小沢
清水	久保田孝一	文子	鳥居

#### 祝誕生

区名	氏名	保護者	続柄
旭町	武井美絵	郁夫	長女
坂下	角替広和	偉男	長男
東二	若月智子	龍仁	長女
東一	久保田智美	雅紀	長女
東一	久保田雅美	雅紀	長女
本一	田辺達朗	喬章	二男
小池	川島みつる	昭人	三女
旭町	渡辺友子	初雄	長女
新町	小松 仁	義康	長男
四十九	袴田仁美	茂治	二女
木島	北村勝久	忍	長男
東一	望月幹広	純男	長男
四十九	山脇三枝	佐久治	長女
八幡	二又川輝子	政幸	長女
南町	田辺敬恵	敬司	二女
清水	朝比奈美幸	晃造	二女
大北	杉山典孝	好明	長男
南町	赤池千佳	俊孝	三女
大北	小泉千恵子	国雄	二女
大北	小泉万紀子	国雄	三女

#### 転出 (結婚)

区名	氏名	転出先
幸町	伊藤徳子	富士市

#### 祈冥福

区名	氏名	年令
日の出	日向悦子	一六
四十九	宇佐美豊太郎	七七
八幡	稲葉けい	八六
清水	吉田徳次	六七
南町	須山よね	六八

### 今年の秋に想う

庭先に咲き乱れている菊の花をみていると今年の秋も終りに近づいていることが感ぜられる。秋は私の好きな季節だ。萬物が稔り、収穫のための激しい労働、そして喜びの感謝祭と躍動する季節ではあるが、あくまで清澄な涼気や無情に落花を誘う秋風はやがて訪れる冬の厳しさの前奏としてのもの淋しさがあるからだ。動から静に移り変わる季節、秋は私達に充実と反省そして沈思を与える。

秋はまた多彩な行事によって彩られる。それぞれの一年間の収穫を発表する時期にふさわしいからであろう。「体育の日」「文化の日」の制定は、この象徴に外ならない。

とくに今年の文化祭は、明治百年記念事業の一環として行なわれたため、その内容はともかく、町民が大きな盛り上りを示して盛大に行なわれたことは、意義深いものであった。明治百年、この記念の意義については数多くの意見がある。しかし式典で示された、高齢者や三代夫婦、三代にわたる公職従事者の賞揚は過去の事象に対する追憶

であり、また「町の木」「町の花」や「町民憲章」の制定は、将来に発展する町の姿の一礎石を意義づけるものであった。

明治維新が鎖国から開国、江戸幕府にかわる明治政府の樹立という大改革であり、歴史的には統一国家建設の運動であり、封建社会から近代社会へと脱皮する画期的な序曲であったのであるが、この百年間の推移は史上類をみない激動変貌の時期であった。

このことは私たちの町にも云え



稲垣 甲子男

る。富士川に接してこれを利用してきる立地条件を生かして発展した当町は、維新後の制度上の変革と近代化の波によって、その利害の向背は断えず町の栄枯盛衰となつて表われた。

この明治維新以後の当町の出来事を身をもって体験して、物語ってくれる人は、もういない。明治はやはり速くなったのであろうかしかし私たははいまでも「御一新」という言葉が、なつかしく心の片隅に生きているように、多くの

明治遺産を好むと好まざるとにかかわらず受けついでいるし、そのなかで呼吸しているのである。

今日は十一月十五日、七五三の日だ。振袖着物にお太鼓帯、髪にリボンをつけた女の子が母親に付き添われて宮詣りする風景は微笑ましく和やかである。しかしこの七五三の晴着には多少なりとも親たちの悩みがタネになっているのも事実である。町や婦人会が簡素な七才祝をすすめてはいるが、やはりこの風習はなくなりません。

七五三が親の悩みのタネになるような派手なものになったのは、江戸時代の末期頃といわれ、それも江戸を中心とした地方にかぎられていた。郷土でも特定な家庭をのぞき、これが一般化したのは昭和に入ってからである。もともと七五三の祝いは、氏神に一人前の氏子になったことを認めてもらうことに意義があり、七歳の女子は着物の付け紐を取って大人なみの帯をしめさせ(帯祝)、五歳の男子は初めて袴をはかせ(袴着の祝)、三歳の子供には新しい帯を結んで宮詣りをさせた。十一月十五日の日が秋の稔りのあとの祭、新嘗の祭りの日で、氏神を祭る大切な日であったからである。――筆者は郷土史家・郡保護司会長